

千春と一緒に歩んできた道のりが金メダルになった

伊調馨（24歳）総合警備保障（障）が前回アテネ大会に続いての金メダルを獲得した。レスリング女子では16日の55キロ級の吉田沙保里（総合警備保障）に続き今大会では競泳の北島康介（日本コカ・コーラ）柔道の内柴正人（旭化成）谷本歩実（コマツ）上野雅恵（三井住友海上）と合わせて6人目の五輪2連覇。日本の金メダルは今大会通算8個目となった。

昨年の世界選手権で5連覇を達成するなど、国内外で無敵の強さを誇る伊調馨は、この日も4試合を勝ち抜いて頂点に立った。16日の48キロ級では姉の千春が銀メダル。2大会連続で姉妹でのメダルを手にした。

伊調馨の話（姉の）千春と一緒に歩んできた道のりが金メダルになった。苦しい戦いだっただけで、千春の存在が力を貸してくれた。金1個が千春にとっても、わたしにとっても最高のメダルになった。

レスリング
◇17日◇女子フリースタイル63キロ級◇決勝



伊調馨 姉とつかんだ五輪連覇

日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS
2008年8月17日(平成20年)日曜日
www.nikkansports.com

金メダルに口付けする伊調馨
(撮影・蔦林史峰)

気になる結果はケータイでもチェック!

スポーツニュース 満載!!



朝日・日刊スポーツ AIR EDGE

購読申込 ☎0120・81・4356 インターネットからは → 購読申込